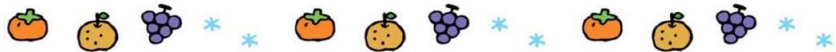


令和3年9月3日
長寿院保育園



暑さ寒さも彼岸までと申しますが、酷暑もようやく過ぎ、吹く風にどことなく秋の気配が感じられるようになりました。気温差や夏の疲れなどで体調を崩しやすい時期ですので健康管理には十分気をつけて下さい。



・9月の行事予定

21日(火) 交通安全のキャンペーン
天文科学館(1年保育)
30日(木) お月見アワー(延期)

・10月の行事予定

15日(金) 運動会
18日(月) 運動会予備日
※18日が雨天の場合中止になります。

※月1回 避難訓練



残暑が厳しい毎日が続いています。しっかりと睡眠をとるなど生活リズムを整え、暑さで弱った体力をつけていきましょう。

お月見



秋は月がとてもきれいで、お月見をするのに一番よい季節です。「十五夜」には秋の収穫に感謝する意味もあり、おだんごやススキをお供えます。秋にとれるイモにちなんで、「イモ名月」ともいわれています。おだんごは満月の形、ススキは魔除けを意味しています。おうちでもきれいなお月さまを見てみてくださいね。

秋分の日とは？

「秋分の日」は祝日。国民の祝日に関する法律(通称、祝日法)によって制定された祝日で、「祖先をうやまい、亡くなった人々をしのぶ」日と定められています。もともと、歴代の天皇・皇后、皇族の方々を祀る「秋季皇霊祭」を行う祭日であったことに由来し、1948年に国民の祝日となりました。天文学上では、太陽が秋分点を通じた瞬間を「秋分」といい、その瞬間を含む日を「秋分日」といいます。この日は太陽が真東から昇り、真西に沈みます。昼と夜の時間がほぼ同じに。秋のお彼岸の中日にあたり、「秋分の日」を境に昼は短く、夜は長くなっていきます。

秋分の日「彼岸の中日(ひがんのちゅうにち)」ともいわれている。秋のお彼岸は、秋分の日と前後3日間を合わせた7日間のことを指す。初日を「彼岸入り」、最終日を「彼岸明け」、ちょうど間の秋分の日を彼岸の中日と呼ぶ。